

第20号

特定非営利活動法人日本防災士会

徳島県支部会報

発行
日本防災士会・徳島県支部
〒771-1311 徳島県板野郡上板町引野
字山路前35-1 事務局長 板東文雄宅
TEL: 090-6285-2017
FAX: 088-637-6221

連携で防災・減災の深化を!

令和3年12月2日、徳島文理大学・徳島文理大学短期大部（以下、「徳島文理大学等」と記します）と「徳島文理大学及び徳島文理大学短期大部」と特定非営利活動法人日本防災士会・徳島県支部との連携協力に関する協定書を締結しました。協定締結の目的やその至った経緯について報告します。（板東事務局長）

◇協定までの経緯

令和3年度は徳島文理大学の学生向け研修会で県支部が講師を務める機会を得ました。そのことから両者にとって組織間で連携を深めることが防災減災のために多彩な取り組みができるのではと、令和3年10月に徳島文理大学教員の青野氏（県支部会員）から今回の件について提案いただきました。10月下旬には協定書の案を提示いただき、役員会で協議を重ね、12月に協定締結となりました。

◇協定書の内容

会員が自ら考え行動を起こすため、「前文、目的、連携・協力事項」が重要と考えます。「災害に強い社会の実現」のための協定であり、第1条では徳島文理大学等と県支部が「相互に協力し、お互いが持つ専門的知識、技能、経験等を有効に活用することで、地域社会の防災・減災に向けた取り組みを推進すること」と規定しています。



協定を契機に両者で地域防災・減災を担う人材の育成や事業を行う可能性が広がります。

◇協定書をどう読み、どう行動するか、事務局長としての想い

連携・協力する内容は4項目。第2条です。1.人材育成、2.事業の実施、3.調査研究、4.その他となっています。

私達会員は徳島文理大学等の若人に、何をどうに伝えるのかが問われています。私達にできる防災知識・技能の伝え、地域防災を担う人材の育成を！そのことを考えながら会員の持つ経験や知識を存分に伝えようではありませんか。

また、学生から触発されることを期待しています。彼らの日常の行動や考え方を知りません。だから、今回の連携で大いに触発され、影響を受け、新しい考えを吸収したいと願っています。それを可能とするのが協定だと認識しています。

お互いが行動しなくては何もならない、行動に移行することが、そして行動によって徳島が（徳島の人達が）変わった、と言えることが最終的目的ではないかと思えます。

さあ、スタートです！

年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年も新型コロナウイルスに振り回された1年でした。ほとんどの会議がオンラインで実施されました。第5波のデルタ株で終息するかに思いましたが、新しい変異株オミクロンが世界中に広がりつつあり、新たな脅威になっています。会員の皆様におかれましては、今後とも感染予防に留意されますよう、お願いいたします。

さて、コロナ禍ではありましたが、県支部は、令和3年3月7日、徳島県知事から「未来を守る防災活動賞」の表彰を受けました。また、12月には徳島文理大学・徳島文理大学短期大部と、地域防災等に関する「連携協力に関する協定書」の締結を行いました。

本年も県民の防災・減災に、会員一丸となって努めてまいります。今後とも、今まで以上のご支援、ご協力をお願いいたします。

結びになりましたが、会員の皆様にとりまして2022年が素晴らしい年になりますよう祈念申し上げます、ご挨拶といたします。

2022年正月

特定非営利活動法人

日本防災士会・徳島県支部

支部長 佐藤治邦

コロナ禍 2年連続で総会書面決議

新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、昨年度に続き、令和3年度総会も書面決議になりました。会員152名中、106名に回答いただき、その内、有効回答数は101名でした。(無効5名は期日後に到着)

各議案への賛否は賛成106名、反対は0名でしたので、各議案は承認されました。

会員から寄せられたご意見と、それに対する役員会の回答と合わせて報告します。貴重なご意見ありがとうございました。

【意見1】総会議案書の表記について。例えば、1号議案の表に「前年度比差」と記載されているが、表中マイナスの表示があることから「差」は不要で、「前年度比」のみの記載でよいのではないかと。

【回答】ご指摘を受け、今後は更に言葉を適切に使用します。

【意見2】事業計画の2.2について。議案書では「専門部会の運用を開始する。」と記載されているが、専門部会は既に立ち上がっているため「開始する」は適切な表現ではない。

【回答】ご指摘の通り。専門部会は2年度より立ち上げているので、「開始」は適切な表現ではありません。「専門部会の運用を継続する」がベターな言葉です。

【意見3】パソコン設定について。内部設定も必要。ZOOM研修と同時に内部設定も必要である。他会場でも多く見してきました。

【回答】貴重なご意見に感謝します。議案書にもあるように、今後はZOOMに取り組み、研修等を広めていきたいと考えています。更にご意見をいただけますよう、よろしくお祈いします。

【意見4】メーリングリストについて。現状では、事務局対全員、1対全員という情報の提供方法だが、これからはメーリングリストでの運用が適切であり、かつ本件が現場での活動において、重要と認識している。

【回答】会員との情報交換については、ご意見の通りと認識します。現在、県支部ではIT関係の諸課題（HPの最適化、ZOOMの運用、巣立ちくんメールの取り組みが未完了、モバイルWi-Fi、

毎月研鑽中！

研修会のご案内

会員や関係者を講師に、実践で活用できる知識や技術など、防災士として役立つ研修会を開催中！会員外でも、防災士の資格のある方なら誰でも参加できます。無料です。

参加時にはマスク着用の上、体調の悪い時は無理をせず参加を控える等、各自で感染防止に注意して、参加ください。お問合せは、岩佐副事務局長（電話080-4030-3198）まで。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大状況により中止または延期になる場合があります。

◇2月13日(日) 13:00~14:30

「ロープワークの基本+α」

瀬尾吉見会員（上板町在住）

◇3月12日(土) 13:00~14:30

「スフィアプロジェクト～アウトラインを理解しよう～」

三橋吉博会計（阿波市在住）

メーリングリスト)があり、解決には会員の力が必要です。今後の課題解決に向けて、更なるご提案、ご協力をお願いします。

県支部長が

日本防災士会の理事に

昨年6月19日、NPO法人日本防災士会の令和3年度総会（書面決議）で、県支部の佐藤治邦支部長が理事として承認されました。

四国からの理事推薦者枠1名を4月の四国支部連絡連絡協議会で協議し、佐藤支部長が選出されました。

現在の会員数 152名

(令和4年1月5日現在)

役員会の動き

毎月開催している役員会での主な議題等について報告します。

▶5月22日：10名出席／・総会の議案書の決定

▶6月12日：10名出席／・県総合防災訓練について、

・書面決議の集計について、・防災フェスタについて

▶7月11日：11名出席／・書面決議での意見への回答について、

・令和3年度事業の進め方について、・アンケートの実施について

▶8月14日：7名出席／・県総合防災訓練について

▶9月：新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止

▶10月9日：10名出席／・防災フェスタについて

▶11月14日：7名出席／・オンラインの推進について

▶12月11日：4名出席／・西条市との交流について、・締結式の報告